

科目名称：	ブライダルビジネス論Ⅱ	
担当者名：	小林 卓	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
婚礼を取り巻く環境変化を踏まえ、適切な知識を身に着けるとともに、自己の表現を身に着け、顧客に提案できるスキル		
授業の達成目標・到達目標		
過去・現在のブライダル産業から今後のブライダル産業を考えていくベース作り。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP (2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP (4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP (1)					0
ビジネスDP (2)					0
ビジネスDP (3)			80	20	100
ビジネスDP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	結婚式場支配人	10年

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間 (分)
第1回 結婚式の歴史とブライダル市場	前期内容の復習と改めてブライダルの市場についてを教科書を用いて行う	30分
第2回 ブライダルビジネスにおけるカスタマー心理	現在の状況、市場に理解を深めたうえで実際のニーズやカスタマー心理について学ぶ	30分
第3回 出会いから挙式まで	結納、婚約、挙式、披露宴などの一連の流れと作法を学ぶ	30分
第4回 ブライダルアイテム① 衣装	ブライダルアイテムの衣装、アクセサリ、コーディネートについて学ぶ	30分
第5回 ブライダルアイテム② お花～コーディネート	ブライダルアイテムのお花から会場コーディネートについて学ぶ	30分
第6回 ブライダルアイテム③	その他のブライダルアイテム、写真、映像、引出物などについて学ぶ	30分
第7回 ウェディングプロデューサーとは	独立したウェディングプロデューサーになるために何が必要かを学ぶ	30分
第8回 2分間スピーチ	個人PRスピーチ（2分間）を準備	30分
第9回 伝える技術①	相手にものを伝える技術を学び、自身のスピーチを振り返る	30分
第10回 伝える技術②	相手にものを伝える技術を学び、自身のスピーチを振り返る	30分
第11回 セルフプランニングのやり方	チーム分けをし、それぞれいいと思うウェディングのイメージを作るための説明を準備	30分
第12回 セルフプランニング①チームウェディングの創作ディスカッション	チームウェディングの創作ディスカッション準備	30分
第13回 セルフプランニング②チームウェディングの創作ディスカッション	チームウェディングの創作ディスカッション準備	30分
第14回 セルフプランニングウェディングの発表①	仕上がったチームウェディングの発表①準備	30分
第15回 セルフプランニングウェディングの発表②	仕上がったチームウェディングの発表②準備	30分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、復習内容を小レポートにまとめておくこと。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。  
期末レポート提出にて80%・授業への積極的関与20%

#### 課題に対するフィードバック

レポートに対し実際のブライダル産業の立場からのフィードバックをレポートに添えて返却する。

#### 教科書・参考書

ブライダルコーディネーターテキスト（スタンダード）